

解禁日 平成22年12月24日

—記者発表資料—

平成22年12月22日
日本下水道事業団

**第36回下水道技術検定（第2種、第3種）及び第24回下水道管理
技術認定試験（管路施設）の合格者発表について**

1 日本下水道事業団は、本年11月に全国11都市で実施した第36回下水道技術検定のうち第2種及び第3種並びに第24回下水道管理技術認定試験の合格者を12月24日に発表する。

発表の方法は、同日、日本下水道事業団技術開発研修本部（埼玉県戸田市下笹目5141）の庁舎内に合格者の氏名及び受験番号を掲示するとともに、日本下水道事業団のホームページに掲載し、合格者本人に書面で通知する。

なお、第1種技術検定の合格発表については、平成23年2月4日（金）に行う予定である。

http://www.jswa.go.jp/gijutsu_nintei/22happyo1.html

2 第2種、第3種技術検定の合格者の状況は、次のとおりである。

第2種の受検者は1,022人、合格者は184人であり、合格率は18.0%となっている。

同じく第3種の受検者は5,370人、合格者は1,588人、合格率は29.6%となっている。（別紙1参照）

合格者の内訳（別紙2参照）

① 区分別に職業別の構成比をみると、第2種は公務員が25.0%と最も多く、次に建設業が23.4%となっている。第3種は維持管理業が66.0%と最も多く、次に公務員が6.9%となっている。

② 区分別に年代別の構成比をみると、第2種は30歳代が42.4%と最も多く、次に40歳代、50歳代がそれぞれ18.5%となっている。第3種も30歳代が42.3%と最も多く、次に20歳代が23.4%となっている。

③ 区分別に学歴別の構成比をみると、第2種は大学卒業以上の者が69.0%と最も多く、次に高校卒業者が19.0%となっている。第3種は高校卒業者が44.2%と最も多く、次に大学卒業以上の者が40.0%となっている。

④ 第2種、第3種における性別の合格者数は、第2種は男性176人、女性8人、第3種は男性1,530人、女性58人であった。

- 3 下水道管理技術認定試験（管路施設）の合格者の状況は、次のとおりである。
受験者数は、1,921人、合格者は546人であり、合格率は28.4%となっている。
（別紙1参照）

合格者の内訳（別紙3参照）

- ① 職業別の構成比をみると、維持管理業が60.3%と最も多く、次に設計・建設業が17.8%となっている。
 - ② 年代別にみると、30歳代が44.0%と最も多く、次に40歳代25.6%、20歳代17.2%、50歳代10.6%となっている。
 - ③ 学歴別にみると、大学卒業以上の者が41.8%と最も多く、次に高校卒業者が41.4%、短大・高専卒業者11.2%となっている。
 - ④ 性別の合格者数は男性528人、女性18人であった。
- 4 下水道技術検定（第2種、第3種）、下水道管理技術認定試験（管路施設）における択一式問題の正答及び合格基準点は別紙4、5に記載のとおりである。

- 5 下水道技術検定合格者は、一定の実務経験を経て、下水道法第22条に定める有資格者となる。
下水道管理技術認定試験（管路施設）の合格者は、管路施設の維持管理技術について、一定水準以上の技術力を有していることが認定される。

なお、「下水道処理施設維持管理業者登録規程」（昭和62年建設省告示）により登録を受けようとする維持管理業者は、第3種技術検定に合格し、一定の実務経験を有する者を登録を受けようとする営業所ごとに置くこととされている。

連絡先

日本下水道事業団技術開発研修本部
管理課長 松村嘉人
電話 048-421-2691

(平成22年度)第36回下水道技術検定・第24回管理技術認定試験合格者数等一覧

平成22年12月24日

日本下水道事業団

試験地	第2種					第3種				
	申込者数	受検者数	受検率	合格者数	合格率	申込者数	受検者数	受検率	合格者数	合格率
札幌	42	32	76.2	9	28.1	297	269	90.6	71	26.4
仙台	119	86	72.3	13	15.1	468	416	88.9	105	25.2
東京	239	203	84.9	43	21.2	1,483	1,306	88.1	425	32.5
新潟	37	34	91.9	7	20.6	223	207	92.8	65	31.4
名古屋	160	134	83.8	38	28.4	774	685	88.5	241	35.2
大阪	174	146	83.9	24	16.4	1,251	1,086	86.8	315	29.0
広島	46	38	82.6	5	13.2	330	295	89.4	92	31.2
高松	126	100	79.4	14	14.0	318	291	91.5	59	20.3
福岡	181	150	82.9	23	15.3	677	611	90.3	167	27.3
鹿児島	99	83	83.8	7	8.4	123	117	95.1	33	28.2
那覇	18	16	88.9	1	6.3	106	87	82.1	15	17.2
計	1,241	1,022	82.4	184	18.0	6,050	5,370	88.8	1,588	29.6
	(1,381)	(1,104)	(79.9)	(212)	(19.2)	(6,183)	(5,567)	90.0	(1,429)	(25.7)

試験地	管路施設				
	申込者数	受験者数	受験率	合格者数	合格率
札幌	199	179	89.9	31	17.3
仙台	152	133	87.5	41	30.8
東京	587	517	88.1	158	30.6
新潟	105	98	93.3	21	21.4
名古屋	345	295	85.5	78	26.4
大阪	335	295	88.1	98	33.2
広島	57	46	80.7	18	39.1
高松	77	71	92.2	22	31.0
福岡	216	197	91.2	60	30.5
鹿児島	36	32	88.9	5	15.6
那覇	65	58	89.2	14	24.1
計	2,174	1,921	88.4	546	28.4
	(2,126)	(1,952)	(91.8)	(700)	(35.9)

注 ()内は前年度の実績である。

1. 合格率(区分別)

実施	年度	第2種	第3種
34回	20年	23.4%	28.6%
35回	21年	19.2%	25.7%
36回	22年	18.0%	29.6%

2. 職業別構成比(区分別)

(第2種)

実施	年度	公務員	設計業	維持管理業	建設業	その他	計
34回	20年	20.1%	28.0%	15.0%	18.4%	18.5%	100.0%
35回	21年	21.2%	21.2%	20.3%	24.1%	13.2%	100.0%
36回	22年	25.0%	21.2%	14.1%	23.4%	16.3%	100.0%

(第3種)

実施	年度	公務員	設計業	維持管理業	建設業	その他	計
34回	20年	10.1%	1.0%	66.8%	3.4%	18.7%	100.0%
35回	21年	9.2%	1.2%	61.4%	4.7%	23.5%	100.0%
36回	22年	6.9%	0.6%	66.0%	2.5%	24.0%	100.0%

3. 年代別構成比

(第2種)

実施	年度	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
34回	20年	0.3%	17.4%	39.2%	25.3%	14.3%	3.5%	100.0%
35回	21年	0.0%	15.1%	45.3%	20.8%	14.2%	4.6%	100.0%
36回	22年	0.0%	14.7%	42.4%	18.5%	18.5%	5.9%	100.0%

(第3種)

実施	年度	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
34回	20年	0.3%	25.8%	38.8%	20.2%	11.9%	3.0%	100.0%
35回	21年	0.2%	26.2%	36.5%	21.1%	12.9%	3.1%	100.0%
36回	22年	0.4%	23.4%	42.3%	21.0%	10.8%	2.1%	100.0%

4. 学歴別構成比

(第2種)

実施	年度	大学院・大卒	短大・高専卒	高校卒	その他	計
34回	20年	55.2%	16.7%	26.2%	1.9%	100.0%
35回	21年	57.1%	11.8%	28.8%	2.3%	100.0%
36回	22年	69.0%	10.3%	19.0%	1.7%	100.0%

(第3種)

実施	年度	大学院・大卒	短大・高専卒	高校卒	その他	計
34回	20年	39.3%	10.7%	46.7%	3.3%	100.0%
35回	21年	42.1%	11.4%	42.5%	4.0%	100.0%
36回	22年	40.0%	11.8%	44.2%	4.0%	100.0%

5. 性別の合格者数

(第2種)

実施	年度	男性数	女性数
34回	20年	281人	12人
35回	21年	204人	8人
36回	22年	176人	8人

(第3種)

実施	年度	男性数	女性数
34回	20年	1,430人	51人
35回	21年	1,386人	43人
36回	22年	1,530人	58人

6. 最年長者

(第2種)

実施	年度	年齢
34回	20年	65歳
35回	21年	79歳
36回	22年	66歳

(第3種)

実施	年度	年齢
34回	20年	67歳
35回	21年	69歳
36回	22年	66歳

下水道管理技術認定試験(管路施設)合格者の推移(過去3年) 別紙 3

日本下水道事業団

1. 合格率

実施	年度	合格率
22回	20年	39.7%
23回	21年	35.9%
24回	22年	28.4%

2. 職業別構成比

実施	年度	維持管理業	設計・建設業	その他	計
22回	20年	63.6%	14.5%	21.9%	100.0%
23回	21年	59.7%	13.4%	26.9%	100.0%
24回	22年	60.3%	17.8%	21.9%	100.0%

3. 年代別構成比

実施	年度	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
22回	20年	0.0%	17.3%	42.7%	25.4%	13.1%	1.5%	100.0%
23回	21年	0.0%	17.4%	41.3%	27.6%	12.6%	1.1%	100.0%
24回	22年	0.0%	17.2%	44.0%	25.6%	10.6%	2.6%	100.0%

4. 学歴別構成比

実施	年度	大学院・大卒	短大・高専卒	高校卒	その他	計
22回	20年	41.1%	9.5%	43.5%	5.9%	100.0%
23回	21年	38.1%	9.6%	47.3%	5.0%	100.0%
24回	22年	41.8%	11.2%	41.4%	5.6%	100.0%

5. 性別の合格者数

実施	年度	男性数	女性数
22回	20年	656人	16人
23回	21年	681人	19人
24回	22年	528人	18人

6. 最年長者

実施	年度	年齢
22回	20年	67歳
23回	21年	69歳
24回	22年	65歳

第36回下水道技術検定及び第24回下水道管理技術認定試験合格基準一覧

- 1 下水道技術検定（第2種、第3種）、下水道管理技術認定試験（管路施設）において、総合点数が下記表の合格基準点以上の者を合格とする。

記

試験区分		出題方式	出題数	満点	合格基準点
下水道技術検定	第2種	択一式	60問	60	39
	第3種	択一式	60問	60	40
認定試験	管路施設	択一式	50問	50	37

下水道技術検定の概要

日本下水道事業団では、毎年1回受験者を公募して全国の主要11都市で下水道技術検定（以下「技術検定」という。）を行っています。

下水道の設計、工事の監督管理及び維持管理については、下水道法及び下水道法施行令により、学歴に応じた一定の下水道実務経験を有する者に行わせなければならず、事業を実施するにはこのような有資格者を確保する必要があります。

技術検定は地方公共団体における有資格者の早期確保などを目的に創設された制度で、合格した場合下水道法第22条の資格取得について必要とされる実務経験年数を短縮する特例が認められます。

技術の内容に応じて「第1種技術検定」、「第2種技術検定」、「第3種技術検定」の三分区があり検定の対象は次のとおりです。

検 定 区 分	検 定 の 対 象
第1種技術検定	下水道の計画設計を行うために必要とされる技術
第2種技術検定	下水道の実施設計及び工事の監督管理を行うために必要とされる技術
第3種技術検定	下水道の維持管理を行うために必要とされる技術